

## ヒト由来フルクトース-1,6-ビスリン酸ホスファターゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1576

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**説明** フルクトース 1,6-ビスリン酸ホスファターゼ (FBPase; EC 3.1.3.11) は、肝臓に存在する酵素で、グルコネオジェネシスにおいてフルクトース-1,6-ビスリン酸をフルクトース 6-リン酸に交換します。フルクトースビスリン酸ホスファターゼは、解糖系の過程に関与するホスホフルクトキナーゼによって触媒される反応の逆を触媒します。これらの酵素はそれぞれ一方の反応のみを触媒し、フルクトース 2,6-ビスリン酸などの代謝物によって調節されており、一方の酵素の高い活性は他方の低い活性を伴います。これは多くの異なる代謝経路に関与し、ほとんどの生物に存在します。FBPaseは触媒に金属イオンを必要とし (Mg<sup>2+</sup>およびMn<sup>2+</sup>が好まれる)、この酵素はLi<sup>+</sup>によって強力に阻害されます。

**別名** フルクトース-ビスリン酸加水分解酵素; EC 3.1.3.11; FBPase; ヘキソース二リン酸加水分解酵素

### 製品情報

種	人間
由来	E. coli
形態	液体。保存バッファー: 50 mMリン酸カリウム pH-7.4、50 mM塩化ナトリウム、0.5 mMエチレンジアミン四酢酸、2.5%グリセロール。
EC番号	EC 3.1.3.11
分子量	36.8 kDa
純度	> 90% (密度測定)
活性	1525 pmol/min/μg
単位定義	1ユニットは、30°Cで1 nmolのNADPをNADPHに交換する酵素の量として定義されます。

### 保管・発送情報

保存方法 -80°Cで6ヶ月以上安定